













































親おや子こ獅し子し

昭和六十一年六月十八日指定

神楽岡神社の春季例祭に奉納される。伝承不詳。親獅子から生まれた子獅子が舞う。跳んだりねたり、逆立ちしたりの演技は、千じんの谷に落とされた子獅子の生命力を表現し、未来への若い生命力の躍動を象徴する。エーモラスに時には厳粛に演じられる親子獅子の舞には、子孫繁栄と豊作祈願がこめられ、幾世代も受け継がれてきた。これは、「古事記」に伝えられる祭神の誉田別命（応神天皇）と息長帯比売命（神功皇后）の故事に因んだ古い行事として文化的価値が高い。

また、飛騨や能登獅子の芸能をとり入れ保存されていて、民俗の変化推移過程を見る上でも大変貴重である。

射水市教育委員会













